

『第28回読売新聞社杯全日本選抜競輪【G1】』の選手選考方法・勝ち上がりトーナメント等について

各都道府県代表が誇りをかけて戦う、競輪界の全国大会！！

『第28回読売新聞社杯全日本選抜競輪（G1）』出場選手選考基準

- ① S級S班在籍者。
- ② 全日本選抜競輪に3回以上優勝した者（開催時にS級1班に在籍）。
- ③ ロンドンオリンピック自転車競技トラック種目代表選手
- ④ 各登録都道府県における、平成24年6月から平成24年11月までの期間（以下、「選考期間」という。）の平均競走得点が第1位の者。
ただし、開催時にS級1班に在籍している者であり、第28回読売新聞社杯全日本選抜競輪（G1）選手選考委員会開催時において1年以上同一の都道府県に在籍している者に限る。
- ⑤ 前記①から④により選抜された者を除く、全国8地区ごとの選考期間における平均競走得点の上位選手各3名。
- ⑥ 残余は選考期間における平均競走得点上位者。

読売新聞社杯全日本選抜競輪は、各都道府県1位の選手を優先して選考するのが最も大きな特徴です。地元ファンの熱い声援を背中に受けながら、各都道府県代表の誇りをかけて選手たちは戦います。はたして優勝者はどの地区から、どの都道府県から出るのでしょうか？

各都道府県代表選手・各地区代表選手に地元の熱い応援を！

◎各都道府県平均競走得点1位選手（開催時S級1班在籍）

都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名
北海道	菊地 圭尚	愛知県	金子 貴志(※)	鳥取県	／
青森県	佐藤 康紀	岐阜県	山口 富生	島根県	／
岩手県	／(※)	三重県	柴崎 俊光(※)	岡山県	岩津 裕介
宮城県	齋藤 登志信	富山県	大庭 正紀	広島県	吉永 和生
秋田県	内藤 宣彦	石川県	小嶋 敬二	山口県	桑原 大志
山形県	／	福井県	脇本 雄太	香川県	香川 雄介
福島県	伏見 俊昭(※)	滋賀県	／	徳島県	小倉 竜二
茨城県	芦澤 大輔(※)	京都府	村上 博幸(※)	高知県	佐々木 則幸
栃木県	神山 雄一郎	奈良県	大井 啓世	愛媛県	濱田 浩司
群馬県	木暮 安由	和歌山県	東口 善朋	福岡県	野田 源一
埼玉県	平原 康多	大阪府	南 修二	佐賀県	荒井 崇博
東京都	後関 信一(※)	兵庫県	松岡 健介	長崎県	井上 昌己
山梨県	／			大分県	大塚 健一郎
長野県	上原 龍			熊本県	合志 正臣
新潟県	諸橋 愛			宮崎県	／
千葉県	中村 浩士			鹿児島県	／
神奈川県	桐山 敬太郎			沖縄県	／
静岡県	新田 康仁				

各都道府県の選考期間における平均競走得点1位選手（S1）を選抜したのが左の表です。
 (※)の都道府県はS級S班選手が在籍しているため、S級S班選手を除いた中で平均競走得点最上位者を選考しています。また、斜線が引かれているのは、S級1班選手が在籍していないため、今開催に出場していない都道府県を表しています。（岩手県からはS級S班の佐藤友和選手のみが出場します）

この各都道府県平均競走得点1位選手を除き、各地区平均競走得点上位3名を選抜したのが下の表です。

これらの選手を優先的に選考し、残余の選手は平均競走得点順に108名に達するまで地区に関係なく選考します。

◎各地区平均競走得点上位3名

地区	No.	級班	氏名	府県	地区	No.	級班	氏名	府県	地区	No.	級班	氏名	府県
北日本	1	S1	佐藤 慎太郎	福島	中部	1	S2	加藤 慎平	岐阜	中国	1	S1	三宅 達也	岡山
	2	S1	飯野 祐太	福島		2	S1	山田 裕仁	岐阜		2	S1	三宅 伸	岡山
	3	S1	岡部 芳幸	福島		3	S1	志智 俊夫	岐阜		3	S1	柏野 智典	岡山
関東	1	S1	飯嶋 則之	栃木	近畿	1	S1	市田 佳寿浩	福井	四国	1	S1	阿竹 智史	徳島
	2	S1	中村 淳	栃木		2	S1	稲垣 裕之	京都		2	S2	室井 健一	徳島
	3	S1	矢口 啓一郎	群馬		3	S1	川村 晃司	京都		3	S1	高原 仁志	徳島
南関東	1	S1	栗田 雅也	静岡	九州	1	S1	小野 俊之	大分		1	S1	小野 俊之	大分
	2	S2	望月 永悟	静岡		2	S1	菅原 晃	大分		2	S1	菅原 晃	大分
	3	S1	加藤 圭一	神奈川		3	S1	吉本 卓仁	福岡		3	S1	吉本 卓仁	福岡

シンプル＆分かりやすい勝ち上がり方式で実施。3位までに入れば上位競走へ！

第1日 2/8(金)	第2日 2/9(土)	第3日 2/10(日)	第4日 2/11(月・祝)
------------	------------	-------------	---------------

全日本選抜では、勝ち上がり戦での「泣き別れ」（同じ着なのに進出種目が異なること）を排し、シンプルさ、分かりやすさを追求したトーナメントを採用しています。

準決勝はおなじみの3個。各レース3位までが決勝へ。

特別選抜予選 3R

1～3位(9名)⇒スタービー賞へ
4～9位(18名)⇒二次予選へ

特選レースはGⅢ同様3個。各レース3位までがスタービー賞へ。

一次予選 9R

1～4位(36名)⇒二次予選へ
5～9位(45名)⇒特一般へ

一次予選からは各レース4位までが二次予選に勝ち上がり。

スタービー賞 1R

1～9位(9名)⇒準決勝へ

二次予選 6R

1～3位(18名)⇒準決勝へ
4～6位(18名)⇒特選へ
7～9位(18名)⇒選抜へ

二次予選を同格6個にすることで準決勝への勝ち上がりが各レース3位までとシンプルに！

特一般 5R

1位 (5名)⇒特選へ
2位(上位4名)⇒特選へ
2位(下位1名)⇒選抜へ
3位 (5名)⇒選抜へ
4位(上位3名)⇒選抜へ
4位(下位2名)⇒一般へ
5～9位(25名)⇒一般へ

準決勝 3R

1～3位(9名)⇒決勝へ
4～6位(9名)⇒特別優秀へ
7～9位(9名)⇒特選へ

特選 3R

1～3位(9名)⇒特別優秀へ
4～6位(9名)⇒特選へ
7～9位(9名)⇒選抜へ

選抜 3R

1～3位(9名)⇒特選へ
4～6位(9名)⇒選抜へ
7～9位(9名)⇒一般へ

一般〔一部帰〕 3R

1～3位(9名)⇒選抜へ
4～6位(9名)⇒一般へ
7～9位(9名)…帰郷

決勝 1R

特別優秀 2R

特選 3R

選抜 3R

一般 2R